

1. 香川県環境保全基金の残高等

			金額 (単位:円)	備 考
①	基金総額 (前年度末基金残高)		187,866,747	内訳額の四捨五入により金額に誤差あり
	内 訳	うち、国費相当額	93,933,373	
		うち、地方負担相当額	93,933,374	
		うち、負担附寄附金等	0	
②	基金運用益		405,453	R 6 年度事業に直充
③	その他収入		0	
④	負担附寄附金等		0	
⑤	返納額		0	
⑥	基金執行額 (処分額)		44,174,098	内訳は下表のとおり
⑦	基金残高		143,692,649	(=①+③+④-⑤-⑥)
	内 訳	うち、国費相当額	71,846,324	
		うち、地方負担相当額	71,846,325	
		うち、負担附寄附金等	0	

2. 保有割合

	次年度の基金類型	取崩型	金額 (単位:円)	備 考
⑧	基金残高		143,692,649	
⑨	事業費 (次年度から終了年度までの見込額)		91,278,000	
⑩	保有割合		1.574	= (⑧/⑨)

保有割合の算定根拠
 運用型：運用益見込額÷事業費 (次年度見込額)
 取崩型：基金残高÷事業費 (次年度から終了年度までの見込額)

3. 事業一覧

番号	事業名	事業費			備考	達成度	事業費 (次年度)	事業費 (終了まで)
		合計	一般財源等	基金充当額				
1	循環型社会づくり推進等事業	1,503,457	0	1,503,457		0%	1,550,000	4,650,000
2	どんぐり銀行活性化事業	1,540,010	0	1,540,010		63%	1,757,000	5,271,000
3	里海づくり推進事業	5,979,573	655,444	5,324,129		69%	5,500,000	16,500,000
4	香川の環境を守り育てる地域づくり推進事業	16,198,960	199,935	15,999,025		61%他	15,499,000	46,497,000
5	森とみどりの祭典開催事業	5,430,690	4,317,877	1,112,813		58%	1,720,000	5,160,000
6	学校における環境学習推進事業	483,910	483,910	0	一般財源等に基金運用益405,453円を含む	71%	0	0
7	地球温暖化対策事業	4,330,415	0	4,330,415		50%他	4,400,000	13,200,000
8	瀬戸内海国立公園指定90周年記念事業	14,424,249	60,000	14,364,249		100%他	0	0
9		0						
10		0						
11		0						
12		0						
13		0						
14		0						
15		0						
合 計		49,891,264	5,717,166	44,174,098			30,426,000	91,278,000

4. 基金事業の目標に対する達成度

成果指標	香川県の環境を守り育てる人づくりを推進するため、環境教育・環境学習参加者数について、2018年度から2027年度までの10年間で累計250,000人の参加者を達成していく。		
成果実績	155,392人		
目 標 値	250,000人		
達 成 度	62%		

令和6年度 事業報告書

事業名	循環型社会づくり推進等事業	新規・継続区分	継続
事項名	食品ロス・プラスチック削減推進事業	開始年度	令和5年度
担当部署	環境森林部循環型社会推進課	終了年度	令和9年度

1. 目的及び目標（値）

○食品ロス削減
食品ロス削減推進法と「香川県食品ロス削減推進計画」に基づき、消費者や事業者、行政、関係団体等が連携し、国民運動として食品ロスの削減に取り組むことで、食品ロスの削減を推進する。

○プラスチックごみ対策
国際的な課題となっているプラスチックごみの削減に向け、繰り返し使える容器の使用や代替素材への転換などに取り組む事業者を支援するとともに、事業者の取組みを広く紹介することにより、他の事業者における取組みの促進や県民の意識向上を図る。

<目標値>（令和7年度）
一般廃棄物のリサイクル率 24.0%（令和2年度 19.3%）

2. 概要

食品ロス削減やプラスチックの3Rに向け、県民及び事業者等の意識向上を図るための各種取組みを行う。

3. 根拠法令等

食品ロスの削減の推進に関する法律（食品ロス削減推進法）
循環型社会形成推進基本法
プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律（プラスチック資源循環促進法）
香川県廃棄物処理計画
香川県食品ロス削減推進計画

4. 実施内容等

- (1) 各種店舗認定・登録制度
「かがわ食品ロス削減協力店制度」「かがわプラスチック・スマートショップ認定制度」により、店舗を認定・登録し、その取組みを広く周知することにより県民及び事業者の意識啓発を図った。
- (2) 表彰事業
食品ロス削減やプラスチックの3Rに対する顕著な取組みを行っている企業・団体等を表彰した。また、一般家庭での取組みを公募し、優れた取組みを表彰した。
- (3) スマート・フードライフ等普及啓発事業
出前講座やフードドライブ、事業者との連携キャンペーンを開催し、県民への普及啓発を図った。
- 出前イベントの開催
市町や企業などと連携して、啓発イベントに出展した。
 - 出前講座
学校や地域コミュニティなどで食品ロスの削減やプラスチックの3Rに関する出前講座を実施した。
 - フードドライブ
県主催イベントでの実施や学校・団体などで実施するフードドライブに必要な資材などの支援を行った。
 - 事業者連携キャンペーン
「かがわ食品ロス削減協力店制度」に認定・登録した店舗等と共同で消費者に対する普及啓発キャンペーンを実施した。
- (4) 香川県食品ロス削減推進協議会の運営（協議会の意見を踏まえて食品ロス削減に関する各種事業を実施）

令和6年度 事業報告書

事業名	どんぐり銀行活性化事業（継続）	新規・継続区分	継続
事項名	どんぐり銀行活性化事業	開始年度	平成28年度
担当部署	環境森林部森林・林業政策課	終了年度	令和9年度

1. 目的及び目標（値）

平成29年11月19日に本県で開催された全国育樹祭を契機に、「どんぐり銀行」を活性化し、子どもたちを中心に預金者の増加を図り、どんぐり銀行活動をはじめ、森林の大切さを普及啓発することにより、県民参加の森づくりの機運を高める。

香川県みどりの基本計画（R3～R7）の指標である「県民参加の森づくり参加者数」を基に、令和9年度までに「県民参加の森づくり参加者数」9,000人/年※を目標とする。

※H29～R2「県民参加の森づくり参加者数」10,000人/年を目標。

※R3～R9「県民参加の森づくり参加者数」9,000人/年を目標。

2. 概要

どんぐり銀行の払戻し内容を拡充し、預金者が多様で魅力的なサービスを手に入れられるようにするとともに、どんぐり銀行にドングリを預け入れようとする者に対し、その機会を増やす等利便性を高めるため、一時的な仮設の手続き場所として、どんぐり銀行の臨時支店を開設する。

3. 根拠法令等

香川県みどりの基本計画

4. 実施内容等

(1) どんぐり銀行臨時支店開設等業務

どんぐり銀行に、ドングリを預け入れようとする者に対し、その機会を増やす等利便性を高めるため、NPO法人どんぐりネットワークへどんぐり銀行臨時支店の開設を委託し、15回開設した。受付件数は609件、預け入れられたドングリは85,281個であった。

(2) どんぐり銀行活性化運営事業

県民に対してよりどんぐり銀行の活動を知ってもらうため情報誌等を発行し図書館などに設置した。

令和6年度 事業報告書

事業名	里海づくり推進事業	新規・継続区分	継続
事項名	かがわ里海大学運営事業	開始年度	平成28年度
担当部署	環境森林部環境管理課	終了年度	令和9年度

1. 目的及び目標（値）

「かがわ『里海』づくりビジョン」に示す「人と自然が共生する持続可能な豊かな海」の実現を目指して、県民の里海への理解を深めるとともに、里海づくりを牽引する人材(自主的に活動する人、教える人など)の育成を行う。

これにより、県民に対し地域の環境保全に関する知識の普及に努めるとともに、育成された人材が、地域の環境保全活動のリーダー等として活躍することで、県全域で活動が活性化することを目的とする。

かがわ里海大学修了者数	平成28年度～令和2年度	計	900人
	令和3年度～令和7年度	計	3,000人
	令和8年度～令和9年度	計	1,270人
	総計	計	5,170人

2. 概要

香川大学等と連携して、かがわ里海大学を運営し、県民の里海への理解を深めるとともに、かがわの里海づくりを支える人材を育成するための講座を実施する。

3. 根拠法令等

香川県環境基本計画

4. 事業内容等

- (1) かがわ里海大学協議会の運営
- (2) 里海を理解するとともにかがわの里海づくりを支える人材を育成するための講座の実施
(令和6年度実施例)
 - ①里海づくりを始める(楽しむ)スタートアップ
 - ・「海の生き物観察講座」「ウミホテル観察講座」「里海体験ツアー」など
 - ②里海づくりを深める(学ぶ)ステップアップ
 - ・「川と海のつながり体験講座」「森と海のつながり体験講座」「香川大学生プロデュース講座」など
 - ③里海づくりを極める(活用する)スキルアップ
 - ・「里海ガイド養成講座」「海ごみリーダー養成講座」など

令和6年度 事業報告書

事業名	香川の環境を守り育てる地域づくり推進事業	新規・継続区分	継続
事項名	(1)みどりの学校運営事業	開始年度	平成29年度
担当部署	環境森林部森林・林業政策課	終了年度	令和9年度

1. 目的及び目標（値）

森林・林業・木材など、みどりに関する講座を「みどりの学校」として運営し、みどりを守り・育てる人材を育成する。

香川県みどりの基本計画の指標である「県民参加の森づくり参加者数」（策定時 H26：8,209人/年、目標 R3：9,000人/年）を基に、令和9年度までに「県民参加の森づくり参加者数」9,000人/年を目標とする。

2. 概要

どんぐり銀行活動をはじめ、ボランティア団体等による様々な取組みを「みどりの学校」として体系化し、これらの情報を一元的に発信し、みどりづくり活動への参加者数の増加を図るとともに、幅広く県民が森づくり活動に参加できるよう、その内容を多種多様なものとするため、県主導でも各種講座を開催し、みどりづくり活動の指導者などの人材を発掘・育成する。

3. 根拠法令等

香川県みどりの基本計画

4. 実施内容等

- (1) 「みどりの学校」の運営
幅広く県民が森づくり活動に参加できるよう、ボランティア団体等による講座を県内各地で77講座実施した。
- (2) 指導者育成のための拠点整備
みどりに関する指導者や後継者育成をするための講座を実施するため、林業作業道具を購入した。
- (3) 「みどりの学校」の広報
InstagramやFacebookで講座の紹介を行った。

令和6年度 事業報告書

事業名	香川の環境を守り育てる地域づくり推進事業	新規・継続区分	継続
事項名	(2)かがわ未来へつなぐ環境学習会開催事業	開始年度	平成29年度
担当部署	環境森林部環境政策課	終了年度	令和9年度

1. 目的及び目標（値）

目的

環境を守り育てていくための人づくり、地域づくりの推進を着実に実行するため、自然環境分野から生活環境分野までの各分野の連携強化を図り、広く県民に環境学習の場を提供することで、持続可能な社会の構築に向けた一体的な人づくりを進めていく。

目標値

環境教育・環境学習参加者数 令和3年度～7年度累計125,000人

2. 概要

環境分野全般にわたる多種多様な講座を一堂に集め環境学習を行い、多くの県民をかがわ里海大学やみどりの学校など人材育成の場への参加につなげるための行事として、「かがわ未来へつなぐ環境学習会」を開催する。
「かがわ未来へつなぐ環境学習会」のほか、環境学習にかかる各種事業を実施することで、毎年25,000人程度の参加者を確保していく。

3. 根拠法令等

環境教育等による環境保全の取組の促進に関する法律、香川県環境基本計画

4. 実施内容等

かがわ未来へつなぐ環境学習会の開催

- ・対象者 一般県民、県内で環境学習を実施する民間団体、企業等の各主体
 - ・内容 環境分野全般にわたる多種多様な講座を一堂に集め環境学習を行い、多くの県民を「かがわ里海大学」や「みどりの学校」など、人材育成の場への参加や地域づくりにつなげるための行事として、「かがわ未来へつなぐ環境学習会」を開催する。また、令和6年度は、瀬戸内海国立公園指定90周年であるため、「瀬戸内海国立公園」をテーマに環境教育を行う要素を新たに加え、身近な瀬戸内海を感じてもらおうとともにより幅広い環境保全活動を紹介する。
-
- ・平成29年度実績 参加者数：2,800人 出展者数：25ブース
 - ・平成30年度実績 参加者数：3,300人 出展者数：25ブース
 - ・令和元年度実績 参加者数：3,600人 出展者数：23ブース
 - ・令和2年度実績 動画視聴者数：4,534人(R3.3.31現在) 動画作成数：14本
 - ・令和3年度 新型コロナウイルス感染症の拡大状況等を踏まえて検討した結果、来場型イベントの開催を中止
 - ・令和4年度実績 参加者数：608人 出展者数：25ブース
 - ・令和5年度実績 参加者数：2,128人 出展者数：34ブース
 - ・令和6年度実績 参加者数：3,206人 出展者数：30ブース

令和6年度 事業報告書

事業名	香川の環境を守り育てる地域づくり推進事業	新規・継続区分	継続
事項名	(3)環境地域づくり情報発信事業	開始年度	平成29年度
担当部署	環境森林部環境政策課	終了年度	令和9年度

1. 目的及び目標（値）

目的
環境を守り育てていくための人づくり、地域づくりの推進を着実に実行するため、自然環境分野から生活環境分野までの各分野の連携強化を図り、広く県民に環境学習の場を提供することで、持続可能な社会の構築に向けた一体的な人づくりを進めていく。

目標値
環境教育・環境学習参加者数 令和3年度～7年度累計125,000人

2. 概要

新聞広告等を活用し、幅広い層の県民への施策の周知と情報発信により、各分野が一体的で効果的な情報発信を行うことで、県民に対して環境に関する知識を啓発し、行動を促すもの。

香川県環境基本条例では、健全で恵み豊かな環境が守られ、かつ、より質が高いものとして将来の世代へ継承されることが基本理念の1つとされており、その実現のためには、地域社会を構成するすべての主体が、それぞれの責務や役割のもとで環境保全活動に積極的に取り組む必要がある。

よって、ひとりでも多くの県民の環境への関心を高め、環境学習に参加しやすい雰囲気をつくることが重要であることから、誰もが気軽に参加できる機会の提供や、効果的な情報発信など、幅広い層の方々に環境への関心を持っていただくための「きっかけづくり」に取り組んだ。

3. 根拠法令等

環境教育等による環境保全の取組の促進に関する法律、香川県環境基本計画

4. 実施内容等

新聞記事広告の掲載

- ・対象者 一般県民
- ・掲載回数 3回（6月22日、7月20日、10月19日）
- ・内容 県が推進する環境学習の場や、環境活動を実践している活動者、環境学習イベントの紹介を記事下の広告欄に掲載するとともに、香川県や県民の環境保全の取組みに関する特集記事を掲載した。

令和6年度 事業報告書

事業名	香川の環境を守り育てる地域づくり推進事業	新規・継続区分	継続
事項名	(4)地域における環境学習推進事業	開始年度	平成29年度
担当部署	環境森林部環境政策課	終了年度	令和9年度

1. 目的及び目標（値）

目的

環境を守り育てていくための人づくり、地域づくりの推進を着実に実行するため、自然環境分野から生活環境分野までの各分野の連携を図り、広く県民に環境学習の場を提供することで、持続可能な社会の構築に向けた一体的な人づくりを進めていく。

目標値

環境教育・環境学習参加者数 令和3年度～7年度累計125,000人

2. 概要

県民が身近な場で気軽に環境学習を行えるよう、市町とも連携して地域における環境学習機会を充実させるほか、省エネルギーや3Rなどの生活に関する環境分野の指導者を育成する。また、学校周辺の川や樹木などを題材に地域の環境を学ぶため、民間団体指導者等を学校等へ派遣し出前講座を実施する。

3. 根拠法令等

環境教育等による環境保全の取組の促進に関する法律、香川県環境基本計画

4. 実施内容等

(1) 環境学習講座等の開催

- ・対象者：一般県民、環境活動者（交流会）
- ・開催実績：市町連携 3市町、5講座（延べ参加者数 64名）
商業施設等 4回（延べ参加者数 1,331名）
環境活動団体交流会1回開催（参加者数 40名）
- ・実施内容：市町や商業施設等と連携し、希望に沿ったプログラムや講師を派遣した。また、講師等活動者相互の情報交換や交流によりプログラムをより充実させることを目的とした環境活動団体交流会を開催した。

(2) 学校等への出前講座

- ・対象者：県内の幼稚園、小中学校等
- ・開催実績：58回（参加者数 2,202名）
- ・実施内容：体験を伴い環境学習を行う民間団体等のプログラムについて、学校から希望のあったプログラムの実施を当該団体に委託し、講座を開催した。

令和6年度 事業報告書

事業名	香川の環境を守り育てる地域づくり推進事業	新規・継続区分	継続
事項名	(5)次世代へつなぐ美しい香川推進事業	開始年度	令和4年度
担当部署	環境森林部環境政策課	終了年度	令和6年度

1. 目的及び目標（値）

目的：身近なところで、環境を軸としてさまざまな主体、世代、場所などがつながり、環境保全への関心と理解を相互に深めながら行動につなげていくことができるような地域づくりを推進する。

目標値

県と連携した市町・事業者・民間団体数 令和7年度 94団体

2. 概要

環境保全に向けて、県民、事業者、民間団体、自治体などが、適切な役割分担のもとで主体的に取り組を進めるとともに、それらの取り組みが地域に広がり、持続的なものとなるよう、各主体と協力・連携して活動の展開を図る。

3. 根拠法令等

環境教育等による環境保全の取組の促進に関する法律、香川県環境基本計画

4. 実施内容等

環境を守り育てるモデル地域事業

- ・モデル活動団体：2カ所
- ・実施内容：環境保全への関心と理解を相互に深めながら行動につなげていくことができる地域づくりを推進するため、モデル活動団体が企画・運営する環境学習講座や環境保全活動を支援した。

令和6年度 事業報告書

事業名	香川の環境を守り育てる地域づくり推進事業	新規・継続区分	継続
事項名	(6)「生物多様性普及啓発」事業	開始年度	令和元年度
担当部署	香川県環境森林部みどり保全課	終了年度	令和9年度

1. 目的及び目標（値）

<目的>

香川の自然の現状について広く普及啓発を行うためには、県内の研究者等の標本を活用し身近な生き物を学べる機会（標本展）や、実際に生き物を見て手に触れながら香川の自然を観察できる環境づくり（フィールド講座）が不可欠である。

<目標値>

生物多様性に関する県民の認知度 40%（令和2年度までに）
平成26年度の現状は20%。
※令和3年度以降の目標値は、県環境基本計画により見直し
生物多様性に関する県民の認知度 50%（令和7年度までに）
令和6年度の現状は37.8%

2. 概要

県内の研究者等が収集・保管している標本を活用した「まちかど生き物標本展」を開催するとともに、実際に生き物を見て手に触れながら、香川の自然を親しむフィールド講座を実施し、香川の生き物を知る機会を子供たちに提供した。

3. 根拠法令等

香川県環境基本計画

4. 実施内容等

- 「まちかど生き物標本展」
 - ・「かがわの生き物の世界 - 屋島や五色台などの瀬戸内海国立公園および瀬戸内海沿岸の自然 -」をテーマに、外来生物などを標本やパネルで展示した。
 - ・開催時期および開催場所：
 - 9月24日（火）～10月18日（金）飯山総合学習センター
 - 1月13日（月）～1月24日（金）ひとの駅さんぽんまつ
 - 1月28日（火）～2月21日（金）香川県立文書館
- 「フィールド講座」
 - ・「生き物を見て・触れる」をテーマに、実際に生き物の観察を行うフィールド講座を開催した。
 - ・開催時期およびテーマ（会場、参加者数）
 - 7月28日（日）森の昆虫たちフィールド体験（公渚森林公園、21名）
 - 10月27日（日）干潟のいきものフィールド体験（鴨部川河口、19名）
 - 12月14日（土）森の野鳥たちフィールド体験（土器川生物公園、18名）

令和6年度 事業報告書

事業名	香川の環境を守り育てる地域づくり推進事業	新規・継続区分	継続
事項名	(7)里海ナビゲーション事業	開始年度	令和2年度
担当部署	環境森林部環境管理課	終了年度	令和9年度

1. 目的及び目標（値）

香川県では、「かがわ『里海』づくりビジョン」に掲げる「人と自然が共生する持続可能な豊かな海」の実現を目指して、全県域で、県民みんなで、「里海づくり」を推進することを目的としており、里海づくりの価値を高め、里海に親しむきっかけを作る事業を実施することにより、県民一人ひとりの里海づくりの活動を促進する。

里海について理解を深め、里海づくりをけん引する人材を育成するため、県は香川大学と共同で「かがわ里海大学」を開講しており、県民の里海への関心が高まることに伴い、かがわ里海大学の講座受講者が増加し、結果として修了者数の増加が見込まれる。

かがわ里海大学修了者数	平成28年度～令和2年度	計	900人
	令和3年度～令和7年度	計	3,000人
	令和8年度～令和9年度	計	1,270人
	総計	計	5,170人

2. 概要

県民一人ひとりの里海づくりの活動を促進するためには、「里海」の知名度やイメージを上げ、里海づくりに取り組むことの価値を高めていく必要がある。

そこで、里海に関する絵日記コンテストを実施し、子どもたちを中心に、里海を身近に感じてもらう契機とする。

この取組みにより、さらに多くの県民が里海に関心を持ち、かがわ里海大学の新たな受講（地域の環境保全に関する知識の普及）や、地域での里海づくりの拡大（活動の普及）につながるとともに、既に活動を行う者に対しても動機や意欲を高めることとなるため、様々な活動の活性化が期待できる。

3. 根拠法令等

香川県環境基本計画

4. 事業内容等

里海づくりの価値を高め、里海に親しむきっかけを作るための事業の実施

○絵日記コンテスト

- ・子どもたちや保護者に里海を身近に感じる契機としてもらえるよう、県内の小学生を対象とした里海に関する「絵日記コンテスト」を開催した。

令和6年度 事業報告書

事業名	森とみどりの祭典開催事業	新規・継続区分	継続
事項名	森とみどりの祭典開催事業	開始年度	平成30年度
担当部署	香川県環境森林部森林・林業政策課	終了年度	令和9年度

1. 目的及び目標（値）

みどりの良さや大切さを伝え、県民参加の森林づくりを一層推進する。
香川県みどりの基本計画（R3～R7）の指標である「県民参加の森づくり参加者数」を基に、令和9年度までに「県民参加の森づくり参加者数」9,000人/年を目標とする。

2. 概要

県民参加のみどりづくりを一層推進するため、みどりづくりから林業や森林整備、木材の利用までの総合的な普及啓発イベントを一般県民対象に開催することにより、緑の少年団等の、みどりづくり活動の情報交換や交流を図るとともに、みどりづくり活動への参加を促すものである。

3. 根拠法令等

香川県県産木材の供給及び利用の促進に関する条例
香川県みどりの基本計画

4. 実施内容等

森とみどりの祭典の開催

①みどりづくり活動発表会

（内容）みどりづくりに関するシンポジウム（記念講演及びパネルディスカッション）

緑の少年団による活動発表会

森づくり、木づかい感謝状贈呈式

②植樹・育樹体験活動の実施

（内容）緑の少年団等の子供たちによる植樹体験及び間伐等の育樹体験

開催日：10月6日（日曜日）

開催場所：香川県公渚森林公園

参加者数：119名

対象者：県内の緑の少年団等

※「緑の少年団」：緑を愛し、緑を守り、育てる心を養うことを目的に活動する少年たちの自主的団体。
森林やみどりについて観察するほか、その役割や機能について学ぶ学習活動や公園等の緑地帯の清掃活動や植樹・樹木の手入れなど奉仕活動等を行う。

令和 6 年度 事業報告書

事業名	香川の環境を守り育てる地域づくり推進事業	新規・継続区分	継続
事項名	学校における環境学習推進事業	開始年度	平成29年度
担当部署	環境森林部環境政策課	終了年度	令和9年度

1. 目的及び目標（値）

目的

環境を守り育てていくための人づくり、地域づくりの推進を着実に実行するため、自然環境分野から生活環境分野までの各分野の連携を図り、広く県民に環境学習の場を提供することで、持続可能な社会の構築に向けた一体的な人づくりを進めていく。

目標値

環境教育・環境学習参加者数 令和3年度～7年度累計125,000人

2. 概要

児童や生徒の環境への関心を高め、将来、主体的に環境に配慮した行動ができるよう、環境に関する授業や課外活動を効率的に進めるための支援を行う。

3. 根拠法令等

環境教育等による環境保全の取組の促進に関する法律、香川県環境基本計画

4. 実施内容等

(1) 環境学習プログラム・教材開発研究

- ・対象者：県内の小中学校教員
- ・実施内容①：学校における環境教育を支援するため、県の環境教育事業の活用を促す教員向け研修を実施した。
- ・実施内容②：平成25年から作成してきた香川県の情報を取り入れた環境学習教材の一部を、より多くの県内小中学生や教員に利用してもらうため、電子書籍化した。

(2) 環境キャラバン隊派遣

- ・対象者：県内の小中学生
- ・実施内容：学校や地域などにおいて、環境に関する様々な分野にわたる環境学習を支援するため、小中学校からの要請に応じて、県職員による環境キャラバン隊を派遣し、3,197名の児童・生徒が受講した。

令和6年度 事業報告書

事業名	地球温暖化対策事業	新規・継続区分	継続
事項名	(1)ゼロカーボン促進事業	開始年度	令和4年度
担当部署	環境森林部環境政策課	終了年度	令和9年度

1. 目的及び目標（値）

<目的>

香川県では、令和3年2月に2050年二酸化炭素排出実質ゼロを目標に掲げる表明を行い、今後さらに地球温暖化対策を加速化させていく必要がある。こうした中、脱炭素社会の実現に向けた県民の意識醸成を促進するため、パンフレット等の広報媒体を通して広く県民に地球温暖化対策についての情報を提供することで、県民一人ひとりの脱炭素社会の実現に向けた取組みを促進する。

<目標値>

ゼロカーボンに関する県民の認知度 90%（令和9年度までに）

2. 概要

県民一人ひとりの脱炭素社会の実現に向けた取組みを促進するためには、地球温暖化対策に取り組むことの意識を高めていく必要がある。

そこで、パンフレット等の広報媒体を通して「地球温暖化対策の現状」から「県民が行える具体的な取組み内容」など幅広く知る機会として、情報を提供し、脱炭素社会の実現に向けた県民の意識を促進する。

3. 根拠法令等

香川県地球温暖化対策推進計画（R3～R7）
（基本目標：脱炭素社会の実現に向けて取り組む地球環境の保全）

4. 実施内容等

脱炭素社会の実現に向けた県民の意識を促進するための広報媒体の作成

（1）チラシ

県内の住宅におけるZEHや断熱改修の普及を促進し、省エネルギー行動の促進や再生可能エネルギーの導入など、脱炭素社会に向けた取組みを進めていく。

【かがわスマートハウス促進事業補助金】のチラシを作成した。

（2）住宅における脱炭素の推進に関する新聞広告

四国新聞は、毎年度環境に関する特集記事を掲載しており、令和6年10月の住宅の脱炭素に関する特集に合わせて、下段に県の実施している事業に関する広告を掲載した。

令和6年度 事業報告書

事業名	地球温暖化対策事業	新規・継続区分	継続
事項名	(2) 香川県気候変動適応センター整備事業	開始年度	令和3年度
担当部署	環境森林部環境政策課	終了年度	令和9年度

1. 目的及び目標（値）

<目的>
地域の気候変動影響及び気候変動適応に関する情報の収集、分析及び提供を行うことで、県民・事業者等の気候変動適応の取組みを推進するため、地域気候変動適応センターを整備し、情報基盤としての機能を強化する。

<目標値>
気候変動影響及び気候変動適応に関する情報の提供数
センターホームページにおいて情報提供する項目数：令和7年度までに20項目を目標とする。

2. 概要

地域の気候変動適応に関する情報ネットワークの拠点として、令和元年10月に香川県気候変動適応センターを設置し、気候変動影響等の情報収集を行ってきたが、地域特有の情報や研究が少ないことから、センター自らが測定等を行いデータを収集することで、地域特有の気候変動影響等を把握し、情報を提供することで県民・事業者がより効果的な気候変動適応策に取り組めるよう事業を実施する。

3. 根拠法令等

- ・気候変動適応法
- ・気候変動適応計画
- ・香川県地球温暖化対策推進計画

4. 実施内容等

(1) 地域気候変動適応センターの運営

(2) 地域の気候変動影響に関する情報整備事業
地域の気候変動による影響及び将来予測される影響に関する情報を収集・整理し、県民・事業者へ提供した。県民・事業者への影響が既に現れている分野のうち、本県に特化した情報が少ない分野について、センターが自ら測定等を行い、情報整備を行った。（例：暑さ指数（WBGT）の測定 等）
近年、全国的に熱中症による被害が増加しており、地球温暖化に伴う今後のリスク拡大に備えるため「気候変動適応法」が改正され（令和6年春全面施行）、気候変動適応の一分野である熱中症対策のより一層の強化が重要となる。本県においても熱中症救急搬送者数は増加傾向にあるとともに、その半数以上は高齢者であり、住居における発生が大半を占めることから、高齢者の住居における暑熱状況を観測することでリスク調査を実施した。また、熱中症弱者である高齢者や子どもへの予防行動の重要性を情報発信するための啓発資材を作成した。

令和6年度 事業報告書

事業名	地球温暖化対策事業	新規・継続区分	新規
事項名	(3)初期費用ゼロ太陽光発電設備導入促進事業	開始年度	令和6年度
担当部署	環境森林部環境政策課	終了年度	令和9年度

1. 目的及び目標（値）

＜目的＞

住宅用太陽光発電設備の設置については、依然として初期費用が高額で、設置の意思はあるがなかなか実行できないという方も多い。そこで、2050年までの二酸化炭素排出量実質ゼロに向けて、初期費用なしで太陽光発電設備等の設置が可能なPPAやリース等を扱う事業者を県が登録し、初期費用ゼロ太陽光発電設備の情報発信を行い、太陽光発電設備等の設置を後押しすることで、県内の太陽光発電設備の一層の導入促進を図る。

＜目標＞

太陽光発電システム設置容量：1,240,000kW（R8.3末） ※R5.3末 908,286kW

2. 概要

県内の再生可能エネルギー導入量の増加のためには、太陽光発電設備の導入を加速化させることが必要であることから、そのための一つのツールとして、チラシ等の広報媒体を活用して、「初期費用ゼロ太陽光発電設備」や県が実施する「事業プラン登録制度」を県民・事業者へ広く発信するものである。

3. 根拠法令等

香川県地球温暖化対策推進計画

4. 実施内容等

「初期費用ゼロ太陽光発電設備」の導入促進に向けたチラシの作成

初期費用ゼロ太陽光発電設備の仕組みや県に登録済みの事業プラン等について紹介するチラシを作成し、県広報誌11月号に挟み込んだ。

令和6年度 事業報告書

事業名	瀬戸内海国立公園指定90周年記念事業	新規・継続区分	新規
事項名	(1)瀬戸内海国立公園指定90周年記念森から海につながるグリーン事業	開始年度	令和6年度
担当部署	環境森林部森林・林業政策課	終了年度	令和6年度

1. 目的及び目標（値）

瀬戸内海国立公園指定90周年を記念し、瀬戸内海をはじめとする世界に誇る自然景観を有する瀬戸内海国立公園で、特別な体験の提供など深い感動体験を柱とした記念事業（イベント等）を展開し、県民をはじめ、多くの方が集い、自然（美しさ）や歴史・文化、食、音楽等々を体験を通じて、先人たちが育み、守ってきた美しい自然環境などを伝え、自然環境保全意識の醸成を図るとともに、環境保全を担う人材育成の取組みを推進する。

香川県みどりの基本計画（R3～R7）の指標である「県民参加の森づくり参加者数」を基に、今年度の「県民参加の森づくり参加者数」9,000人を目標とする。

2. 概要

県内の国立公園区域は、森林等に囲まれた陸域から瀬戸内海の海域まで幅広く広がっている。森林等の清掃イベントや森林整備等の森づくり活動を開催し、県民の皆様に参加していただくことで、瀬戸内海国立公園に対する理解を深め、先人たちが育み、守ってきた自然環境（美しい自然）を改めて認識し、自然環境保全の機運醸成を図る。

3. 根拠法令等

香川県みどりの基本計画

4. 実施内容等

（清掃及び森林整備活動）

瀬戸内海国立公園指定区域内の森林で、清掃及び森林整備等の森づくり体験を実施した。参加者については、一般参加者を募集した。森林整備等の講師については、森林ボランティア団体や森林組合等に委託した。

①五色台
②屋島
③小豆島 計3回実施

令和6年度 事業報告書

事業名	瀬戸内海国立公園指定90周年記念事業	新規・継続区分	新規
事項名	(2)瀬戸内海国立公園指定90周年記念シンポジウム開催事業	開始年度	令和6年度
担当部署	香川県環境森林部みどり保全課	終了年度	令和6年度

1. 目的及び目標（値）

<目的>

令和6年3月に瀬戸内海国立公園が指定90周年を迎える。指定90周年を記念したシンポジウムの開催により、瀬戸内海の魅力や価値をあらためて再認識する機会の創出及び環境保全意識の高揚等を図る。

<目標>

シンポジウム参加者数：300人

パネル展示、ワークショップ来場者：200人

2. 概要

瀬戸内海国立公園は、自然と人間の営みとが一体となった、独特の親しみ深い景観（多島美景観）として、昭和9年に日本で最初に指定された国立公園であり、令和6年3月に指定90周年を迎える。

パネルディスカッションや講演を通じ、県民の方々の瀬戸内海国立公園に対する理解を深め、先人たちが育み守ってきた美しい自然環境の魅力の再認識、環境保全意識の高揚、次世代に瀬戸内海を引き継いでいく機運を高める。

3. 根拠法令等

香川県環境基本計画

4. 実施内容等

「世界の宝石を守り、つなぐ ～持続可能な未来への船出～」をテーマに、瀬戸内海国立公園指定90周年記念シンポジウムを開催し、サイドイベントとして、瀬戸内海×アートイベントを開催した。
詳細は以下のとおり。

- (1) 瀬戸内海国立公園指定90周年記念シンポジウム
開催日：令和6年7月15日（月・祝）13:00～16:00
開催場所：かがわ国際会議場（高松シンボルタワー）
参加者数：272名
内 容：瀬戸内海をテーマとした基調講演やトークセッション、パネルディスカッション等を実施した。
- (2) 瀬戸内海×アートイベント
日 時：令和6年7月15日（月・祝）10:00～16:00
開催場所：高松シンボルタワー1階
参加者数：607名
内 容：・瀬戸内海国立公園指定90周年記念フォトコンテスト入賞作品展
・体験型海ごみアートショー
・スプレーティストによるライブペインティング、体験会
・ミニ水族館
・海ごみワークショップ

令和6年度 事業報告書

事業名	瀬戸内海国立公園指定90周年記念事業	新規・継続区分	新規
事項名	(3)瀬戸内海国立公園指定90周年記念フィナーレイベント開催事業	開始年度	令和6年度
担当部署	香川県環境森林部みどり保全課	終了年度	令和6年度

1. 目的及び目標（値）

＜目的＞

瀬戸内海国立公園90周年記念事業として、その価値や魅力を高め、県内外に発信する記念事業に取り組む年間通じた切れ目ない記念事業の締めとして開催することにより、指定「100周年」に向け、瀬戸内海国立公園の恵まれた自然を守っていく機運を高める契機とする。

＜目標＞

参加者：200人

2. 概要

瀬戸内海国立公園のひとつであり、万葉の時代に柿本人麻呂が瀬戸内海を讃えたとされる沙弥島と、沙弥島に隣接する瀬戸大橋記念公園において、瀬戸内海国立公園指定90周年記念事業のフィナーレを飾るイベントを開催する。
参加いただいた県民の方々にフォトテーリングを楽しみながら瀬戸内海国立公園に関する知識を深めていただき、フィナーレセレモニーにおいて、瀬戸内海に関する宣誓や地元の子どもたちによる合唱を通じ、指定「100周年」に向け瀬戸内海を共に守っていく機運を高める。

3. 根拠法令等

香川県環境基本計画

4. 実施内容等

「100周年へのメッセージ ～10年後の未来に向けて～」をテーマに、フォトテーリングとフィナーレセレモニーの二部構成で実施した。
詳細は以下のとおり。

- (1) 第一部 探検・発見・行こう！100周年への道 フォトテーリング
日 時：令和6年11月9日（土）9:40～12:00
開催場所：瀬戸大橋記念公園・沙弥島
参加者数：160名（事前申込制）
内 容：瀬戸大橋記念公園コースと沙弥島コースの2コースを設定し、それぞれのコースで、地図と写真を見ながら写真の場所を探し、その場所でクイズに答えるアクティビティを実施した。
- (2) 第二部 未来に向けて、メッセージを発信！フィナーレセレモニー
日 時：令和6年11月9日（土）13:00～14:00
開催場所：瀬戸大橋記念公園 マリンドーム
参加者数：744名
内 容：瀬戸内海国立公園指定90周年記念事業の締めくくりとして、県内の小学校（3校）の児童による合唱や、沙弥島で活動する学生による、100周年に向けた宣誓などを実施した。